キャラクター名
サミュエル・ボーズマン

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	
オプショナル		年齢	47	性別	男
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	67 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	1	0	0		1	2
精神	4	0	0		1	5
社会	3	0	0		1	4

HP	11
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
自動巡回ソフト	
コネ：UGN諜報部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
懐刀	P	N		
マティアス・ストゥルム	P 連帯感	N 猜疑心		
アッシュ・レドリック	P 尊敬	N 不快感		
ドム・エッガー	P 連帯感	N		
クレア・アンダーソン	P 連帯感	N 不満		
リコ・ヒラサカ	P 有為	N 不信感		
ダニエル・パーマー	P	N 敵愾心		

最大財産P: 10	残り財産P： 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
緑の鞭（ウォーデンソーン込み）	5	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 命中0、攻撃力+LV×2+9、G値5、射程20mの武器を2つ作成								
コンセントレイト：オルクス	2	2	メジャー					
効果： Cr値-LV								
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器		対決		
効果： 武器の攻撃力等ふたつ合計使用、達成値-5-LV								
コンバットシステム	1	3	メジャー			対決		
効果： このエフェクトを組み合わせた白兵の判定ダイス+LV+1								
朧の弾丸	1	2	メジャー	武器		対決		
効果： 装甲無視、同エンゲージ不可								
コントロールソート	1	2	メジャー	武器		対決		
効果： 白兵を精神で振る								
神速舞踏	3	2	オート	至近	自身	自動		
効果： 判定直後に達成値+LV×2、1度の判定に「攻撃に使用した武器の数」回まで重複可								
完全なる世界	1	5	メジャー			対決	100↑	
効果： 判定ダイス+LV+1、攻撃力+LV×3								
ナーブジャック	1	4D10	メジャー	視界	単体	対決	120↑	
効果： 対象の意志と対決、勝利時対象に1回こちらが指示したメジャーアクションを行わせる（回数制限ものは使用不可）								
写真記憶	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果： 必要なら知覚で判定可								
プロファイリング	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果： 必要なら知識：で判定可								
領域封鎖	★		メジャー	視界	範囲(選択)	自動		
効果： 必要ならRCで判定可								
精神誘導	★		メジャー	至近	単体	自動		
効果： 簡単な行動なら誘導できる、RCで対象の意思との対決可								

UGN第4部査察部第4課（エスケープキラー）の現課長であるアフリカ系アメリカ人。デスクワークでも現場でも基本スーツを着用し、坊主頭でフチなし眼鏡をかけている。
マティアス・ストゥルムとはほぼ同時にUGNに所属しており、それぞれの配属が決まるまで戦闘訓練やいくつかの現場を共に行動して互いのことをよくわかっている。それゆえ、彼がジャーム化するという失態を簡単に犯すとは思えず何か裏があるのではないかと考えている。

とある任務にてゼノスのメンバーを粛清した際に、RB視点からの人間社会のいびつさに対する考えを知る。それ以降合理的に考えて非オーヴァードはか弱い存在でありオーヴァードが中心になるほうがまだ合理的なのではないかという思想になり、結果的にタカ派になった。
アッシュ・レドリックの直属の部下として裏切者探しという仕事について、前述の合理的思考から裏切りをして捕まるという非合理的で弱い存在に価値を感じないため特に心を痛めることなく粛々とこなしている一方で、同僚やキャリアを積んでから部下を勝手に左遷されることも多いためそこには渋い感情を抱く（人道的なものではなく戦力的にめんどくさいと言いう観点で）。

アメリカ人としては小柄な体ではあるが、わずかな証拠から人物を突き止め精神誘導も躊躇なく行い、かつかあればそこらにある植物から鞭を作り出し苛烈な粛清を行うため、敵味方問わず恐れられている。

成長要素…縮地で同エンゲージに来られても殴れるように